



## 五月山動物園の人気者 ウォンバットの「コウ」が死亡

池田市立五月山動物園（綾羽2-5-33）で飼育しているオーストラリアの希少種・ウォンバットの「コウ」（オス、7歳）が、13日午後2時45分、急性心不全による死亡を確認しました。

コウの死亡により、同園で飼育しているウォンバットは3頭になりました。

「コウ」は五月山動物園の「フク」のお嫁さんを迎えるプロジェクトによって、平成29年10月にオーストラリア・トロワナワイルドライフパーク（現トロワナワイルドライフサンクチュアリ）から寄贈された3頭（オス＝コウ、メス＝マル、メス＝ユキ）のうちの1頭です。

「コウ」は一緒に来た「ユキ」とペアになり、繁殖に向け取り組んでいました。

ウォンバットは丸みを帯びた体型に丸い瞳、ユーモラスな歩き方に特徴があり全国にファンがいるほど人気を集めています。国内にいる6頭のうち4頭を同園で飼育していましたが、「コウ」の死亡により「ワイン」（オス34歳）「フク」（オス19歳）「ユキ」（メス7歳）の3頭となりました。

同園では献花台を12月16日（土）から12月29日（金）まで園舎前に設置し、皆さんから愛された「コウ」を偲ぶことにしています。

### 【参考】

ウォンバットはコアラやカンガルーと同じ双前歯目の仲間です。夜行性で普段は巣穴の中で暮らし木に登らないため、「地上のコアラ」と呼ばれ、保護動物としてオーストラリア全土で大切にされています。日本では五月山動物園のほか、長野県の茶臼山動物園でも飼育されています。

問い合わせ 五月山パークマネジメント共同企業体  
五月山緑地管理センター Tel.072・753・2813